

3月28日(土) 10:30

生野ミニバスケットボール 予選1試合目

兵庫県代表 明城ミニバスケットボールクラブと対戦

- 1 Q 開始 10 秒、明城#10 のミドルシュートで先制される。
生野は、ゾーンプレスで前からプレッシャーをかけ、ハーフコートでは、2-1-2 のゾーンでインサイドを警戒。
対する明城は、ハーフコートのマンツーマン。
しばらく均衡が続き、生野 #12 ドライブ、ストップショットで同点。
両チームとも緊張した様子も、大きなミスもなく点を取り合い、第 1 Q を 8-8 の同点。
- 2 Q 明城 #8 のロングシュートから始まり、開始約 2 分で明城が 2 点追加。
一方、生野は明城のマンツーマンディフェンスを崩しきれず、シュートまでいくものの、得点にならないため、タイムアウトで作戦を指示。
さらに 1 分間の攻防が続き、明城 #8 のロングシュートで、12-8 と 4 点差。
残り時間 2:12 生野 #4 のミドルシュートが決まり、2 Q 初得点。
その後、明城に 2 点返され前半を 生野 10-14 明城 と、明城 4 点リードで折り返す。
- 3 Q 生野のオフェンスは、リズムが悪く、ボール展開からのシュートがなかなか得点に繋がらない。
対して明城は、#8 のアウトサイド、#5 のインサイドを軸にオフェンスが機能し、生野 4 得点、明城 12 得点と第 3 Q 生野 14-26 明城 12 点差と大きくリードされ苦しい展開となる。
- 4 Q 生野は、早く点差を縮めたいため、ゾーンプレスディフェンスで、前からプレッシャーをかけるものの、明城は慌てることなく、更に点差を広げ 生野 20-38 明城 初戦敗退。

山口県代表		兵庫県代表	
生野ミニバスケットボール		明城ミニバスケットボール	
	2	—	6
20	4	—	12
	4	—	12
	6	—	12
			38

3月29日(日) 12:45

生野ミニバスケットボール 予選2試合目

大分県代表 中津三光ミニバスケットボールクラブと対戦

1 Q 開始 50 秒 中津三光 #13 のロングシュートで先制される。

その後、生野はねばり強いゾーンプレス・ディフェンスで、中津三光にプレッシャーをかける。中津三光は、2-1-2のゾーン・ディフェンスでインサイドを警戒。

生野 #8 がリバウンドのこぼれ球をジャンプショットで2得点、#12 が4得点をあげ、1 Q生野リード。

2 Q 開始 1 分半得点が動かず。

生野は、オフェンスリズムを替えるため、タイムアウト要求。

タイムアウト後も両チーム得点が入らない。残り時間 3:05 生野 #4 ドライブ・ストップショットでファールをもらい、フリースロー2得点。

その後、生野 #4 速攻からのドリブルで持ち込みレイアップ、生野 #10 2得点、#13 が、リバウンドからのジャンプショットでファールをもらい、フリースロー2得点。

中津三光は、生野の堅い守りを崩しきれずに、残り時間 1:28 #11 ロングシュートの2得点のみ。前半を生野 14-4 中津三光とリードで折り返す。

3 Q 開始 5 秒 生野 #9 ハイポスト・ジャンプショットで先制。中津三光も、1 分後中津 #4 もハイポスト・ジャンプショットで取り返す。

両チームとも堅いマンツーマンディフェンスで得点が動かず、残り時間 3:26 生野 #6 ドライブからのロールでディフェンスをかわし、遅れたディフェンスの横からのブロッキングをもらいバスケットカウント。フリースローも決める。

中津三光も #7 ロングシュートで取り返す。

生野は、#4 ドライブショットでファールをもらいフリースロー2得点、さらに#4-#7-#4の速攻でファールをもらいバスケットカウント。フリースローも決める。

中津三光も #4 フリースロー2得点をとるも、残り時間 0:24 生野 #10 が得点を上げ、生野 26-10 中津三光と16点差、さらにリードを広げる。

4 Q 中津三光ボールでスタート。ドリブル・スクリーンプレーからの#7のドライブ・ストップショットを放つもリングに嫌われ得点成らず。開始 30 秒 生野 #10 のハイポストジャンプショットで先制。

中津三光は、オールコートのマンツーマンディフェンスで追い上げはねらうが、生野は落ち着いてパスで交わし、残り時間 5:15 #5 ハイポストへの飛び込み、ジャンプショットでファールをもらいフリースロー。

ここで、中津三光タイムアウト要求。

#5 フリースローを1本決める。

その後、両チームの激しい攻防が続き得点の取り合いとなるが、生野は中津三光の反撃を許さず、生野勝利。

山口県代表
生野ミニバスケットボール

大分県代表
中津三光ミニバスケットボール

	6	—	2	
3 8	8	—	2	2 0
	1 2	—	6	
	1 2	—	1 0	

中津三光とは全関西の初戦、3点差で敗退しているしているため、互角の勝負になると思われていたが、結果は、18点差と大差での勝利となった。

この大差の要因は、決して個人やチーム能力の差ではなく、メンタル面が大きく影響しているのではないかと思われる。

この大会で、全国のレベルの高いチームを多く拝見させて頂いたが、個人スキルの高さ、メンタル面の強さを改めて実感させて頂くと同時に、指導の難しさを痛感させられました。

最後になりますが、全国大会出場にあたりご支援・ご協力を頂いた皆様へ御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

生野ミニバスケットボールスポーツ少年団
コーチ 吉本 進一

第 46 回 全国ミニバスケットボール大会に出場して

生野ミニバスケットボールスポーツ少年団

4 橋本 莉聖

私たち生野ミニバスは、初めての全国大会出場でした。東京の代々木体育館でプレーできたことは、一生の思い出になりました。しかし、結果は1勝1敗で予選リーグ敗退、決勝トーナメントに進むことはできませんでした。今は、そのことが一番悔しいです。

1日目の対戦相手は、兵庫県代表の明城ミニバスでした。全関西にも出場していて、とても強いチームだったことを知っていたので、緊張していつものプレーができませんでした。1Q、2Qと接戦でしたが、3Qから生野のシュートが決まらず、明城の流れになってしまい、20-38で敗れました。

2日目の対戦相手は、大分県代表の中津三光です。全関西の予選ブロックで戦い、3点差で負けたチームでした。自分たち6年生にとっては、勝っても負けても、本当に最後の試合になります。

試合会場に入る通路のところで、保護者のみんなが列を作ってハイタッチをして送り出してくれました。絶対勝つという気持ちがチームのみんなに溢れました。1Qでリードをして、2Qからも自分たちの練習してきたプレーをすることができました。試合は38-20で勝ちました。6年生最後の試合を勝って終われたこと、何より、6年生8人全員がこの試合に出れたことが、キャプテンとして一番うれしかったです。

全国の舞台で試合ができたのは、たくさんの試合をしてくださったチームの皆さんのおかげです。壮行会を開いてくださった下関のチームのみんな、県大会で応援してくれた熊川のみんな、同じ西部で何回も試合をしてお互いに優勝を目指して戦った楠ミニバスのみんな、決勝戦を戦った麻里布ミニバスのみんな、本当にありがとうございました。



最後に、監督、コーチ、
保護者の皆さん、チームのみんなへ。

声も小さく、頼りないキャプテンだった私は、
チームのことで悩んだり、つらかったりしたこともあったけど、最後まで、いろいろ助けてくれて、いっぱい助けてくれて、本当にありがとうございました。

